

10日投票の参院選。茨城選挙区（改選数2）で、日本共産党の小林きょう子候補（65）＝新＝は、同選挙区初の党議席獲得で、「新しい風を起こそう」と奮闘しています。

細川豊史記者

参院選が公示された6月22日、小林候補は水戸市内で「戦争法廃止、憲法守れの声を私に託してください。農林漁業や医療、雇用、地域経済など国を売り渡すTPP（環太平洋連携協定）は批准させない」と訴えました。

野党共闘を進める共産党への信頼、期待が広がっています。公示日にも、党県委（改憲発議に必要な）

員会に男性から「俺は共産党員でも支持者でもないが、自公に比例は共産党とお広げください」と話すと、男性は快諾しました。

土浦市では公示前、演説していた久松猛党市議に、足を止めで聞いていた子育て中という女性が涙ながらに戦争法への不安を語り、「体が弱いけどできることをしたい」と話しました。久松市議が「無理のない程度に共産党への支持をお広げください」と依頼すると、女性は「やってみます」と答えました。

安倍暴走政治に対し安倍が声を上げています。4月には戦争法廃止、立憲主義回復をめざす「市民連合」が茨城県で発足。6月18日には、地域単位初の「さくらがわ市民連合（桜川市）」が発足しました。150人が集い、原中勝征・前日本医師会会長らがあいさつ。保守的な地域からも安倍政権打倒ののろしが上がっています。

茨城選挙区は小林候補のほか、自民と民進の現職の有力3氏らの争い。公示第一声で自



# 小林きょう子

茨城選挙区  
(改選数2)

小林さんが県南農民組合の事務局長をしていたとき、私は事務局次長として13年間、いっしょに働きました。小林さんは正義感が強く、曲がったことが嫌いです。農民運動全国連の常任委員や東京向け産直組織の副代表などもつとめ、普通の人の数倍の仕事をこなしてきました。小林さんをよく知る人は「あんなにがんばれる人はいない」



農民運動茨城県連合会書記長

村田深さん(47)

## 農業守るために必要な人

生産者一人ひとりに「あなたは宝なんですよ」と呼びかけてきた小林さん。この言葉には、今求められている農政の真髄があります。農業には共産党が提案している価格保障、所得補償がどうしても必要です。TPPに一貫して反対してきた小林さんに国会で活躍してもらえるよう私も全力でがんばります。

比例は共産党とお広げください」と話すと、男性は快諾しました。

土浦市では公示前、演説していた久松猛党市議に、足を止めで聞

いていた子育て中という女性が涙ながらに戦争法への不安を語り、「体が弱いけどできることをしたい」と話しました。久松市議が「無理のない程度に共産党への支持をお広げください」と依頼すると、女性は「やってみます」と答えました。

安倍暴走政治に対し安倍が声を上げています。4月には戦争法廃止、立憲主義回復をめざす「市民連合」が茨城県で発足。6月18日には、地域単位初の「さくらがわ市民連合（桜川市）」が発足しました。150人が集い、原中勝征・前日本医師会会長らがあいさつ。保守的な地域からも安倍政権打倒ののろしが上がっています。

茨城選挙区は小林候補のほか、自民と民進の現職の有力3氏らの争い。公示第一声で自

民現職は戦争法を「戦争しないための抑止力」とうそぶき、アベノミクスの“成果”を誇示。「共産党は自衛隊の解散を訴えていました。応対した勤務員が、「全国の知人に持を訴えました。同じく共同代表の二見伸明・元公明党副委員長は、25、26日につけば、牛久、土浦の各市で「共産党の議席を伸ばしていただきたい」と支援を呼びかけました。

共産党県委員会の田谷武夫委員長は「比例30万票の目標を達成をむき出しに、反共攻撃に必死です。

と口をそろえます。

遺伝子組み換え食品に対する運動として全国に先駆けて「大豆畑トラスト」運動を実践し、地元の加工業者に大豆菓子や納豆にしてもらうなど、今でいう6次産業化の典型的のような取り組みも成功させています。

# 共同の力 政治に新風